

君とつばさ



令和8年5月20日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)1789
 (HP) https://www.kotsuiji.com

©交通遺児育英会

東京 関西

心塾で入塾式

新入塾生16人東京では記念植樹



今春、大学、専門学校などに進学した交通遺児育英会の奨学生16人（東京7人、関西9人）が東京、関西の学生寮「心塾」に入塾し、4月に入塾式が行われた。式典には石橋健一会長や当会職員が出席して新入生を激励。東京寮の中庭では恒例の記念植樹が行われ、入塾生はシャベルを順番に持ち替えてシデコブシを植えた。写真は4月4日、東京寮で。東京、関西の心塾生は新入生を含めて計83人になった（4月1日現在）。（3面に連続記事）

「語りいカフェ」をオンライン参加しやすく

土曜開催／元奨学生の保護者も対象／心塾生がオンライン参加

保護者同士の交流や情報交換の場として2022年度に始まった「語りいカフェ」の実施要領が今年度から見直され、より参加しやすい行事にリニューアルされる。3月19日に開かれた第45回通常理事会で、今年度の事業計画として承認された。

語りいカフェは奨学生の保護者を対象に全国の各地区ごとに開かれ、近隣在住の保護者が参加する。昨年度は、金沢、札幌、沖縄、新潟、鹿児島の5都市で実施した。

現役奨学生の保護者に限っていた参加対象を、今年度から現在返還中の元奨学生の保護者まで拡大。さらに、平日開催のため仕事などの都合で参加できなかった保護者からの要望を受け、開催日を全て土曜日にする。今年度は7月開催の大阪を皮切りに、東京、福岡、札幌、名古屋で年内計5回の開催を予定している。

また、来場参加のほかリモート参加も併せて募集する。今年度からは心塾に関する質問や奨学生の視点からの対応を想定し、心塾生もオンラインなどで参加する。

今年度の実施スケジュールは当会ホームページで紹介している。

表現の「適切さ」を思う

入学おめでとう

交通遺児育英会会長

石橋 健一



皆さん進学、進級おめでとうございます。心新たに新しい目標に向かって、しっかりとスタートを切ってください。まだ先は長いから、などと言っていたら秋になります。

とはいっても私が大学に入った頃のことを思い出すと、なぜだか心が安定していきなかつた。神経中枢がギリギリしている感じで、目標なんて考える前に心を平穏にするのに苦労した記憶があります。大学構内中央ロウン（芝生）の側を歩いている時に倒れそうになつて歩けなくなつたことがあつたし、クラスメートに助け込むのも楽しげなく、どこか普通じゃなかつた記憶がある。そんな私でしたが、今は割と普通だと思つたので、「なんか自分とは変な感じがしないかな」などと思つていました。でも、まあ私の経験からすると半年から一年くらいで元に戻つたと思つたので、気楽に身近な人殺害とあります。

「殺害」と書けば誰かにかつて殺されたことになる。ならばどんな武器で、ナイフ？ピストル？ 爆弾？ ミサイル？ ミサイルならどこの国が、となるだろうし、「死亡」と書けば、普通は「えっ！ 死んだの？ 病気？ 事故？ 老衰……」となる。

「死亡」などは誰に遠慮をしてそんな表現をするのか、表現のプロなら恥を知らず、と言いたいところですが、米国のようなイラン攻撃の法的評価に口をつぐんでいる日本政府の姿勢同様、そのような表現にはある種の政治的忖度が働いているのではないかと想像してしまいます。

私たちが一般に使う、あるいはメディアの表現にも、正しく物事を表していないものがあるように思つたのです。以下は私の率直な思いです。

ロシアのウクライナ侵攻は「ロシアがプーチン大統領の指令によりウクライナで無差別に殺人、建造物破壊を開始。イスラエルのガザ攻撃も同様です。付言すれば、国際刑事裁判所（ICC）は戦争犯罪に関わつた疑いでプーチン、ネタニヤフ首相らに逮捕状を出しています。さらにイラン攻撃については、「トランプ大統領が小学校を爆撃、175人以上の児童や教師らを殺害」のように表現すれば、これを指揮した者の罪がよく伝わるように思っています。

いすれにせよ、こうした軍事攻撃を指揮する者の人間性を評価すれば、プーチンもネタニヤフもトランプも到底、指導者たるにふさわしい資質を備えているとは思えません。被害が拡大し続けるウクライナ、ガザ、イランなどでの紛争事例を見ると、それに関する報道に正義、倫理、人道的視点がもっと強く打ち出されるべきではないでしょうか。このような時期だからこそ、私たちがかつて我が国が他国を侵略した歴史を忘れず、強い正義、倫理、人道的視点をもち、国の平和と近隣諸国との友好関係の維持に努めねばならないと改めて思っています。

皆さん進学、進級おめでとうございます。心新たに新しい目標に向かって、しっかりとスタートを切ってください。まだ先は長いから、などと言っていたら秋になります。

とはいっても私が大学に入った頃のことを思い出すと、なぜだか心が安定していきなかつた。神経中枢がギリギリしている感じで、目標なんて考える前に心を平穏にするのに苦労した記憶があります。大学構内中央ロウン（芝生）の側を歩いている時に倒れそうになつて歩けなくなつたことがあつたし、クラスメートに助け込むのも楽しげなく、どこか普通じゃなかつた記憶がある。そんな私でしたが、今は割と普通だと思つたので、「なんか自分とは変な感じがしないかな」などと思つていました。でも、まあ私の経験からすると半年から一年くらいで元に戻つたと思つたので、気楽に身近な人殺害とあります。

「殺害」と書けば誰かにかつて殺されたことになる。ならばどんな武器で、ナイフ？ピストル？ 爆弾？ ミサイル？ ミサイルならどこの国が、となるだろうし、「死亡」と書けば、普通は「えっ！ 死んだの？ 病気？ 事故？ 老衰……」となる。

「死亡」などは誰に遠慮をしてそんな表現をするのか、表現のプロなら恥を知らず、と言いたいところですが、米国のようなイラン攻撃の法的評価に口をつぐんでいる日本政府の姿勢同様、そのような表現にはある種の政治的忖度が働いているのではないかと想像してしまいます。

私たちが一般に使う、あるいはメディアの表現にも、正しく物事を表していないものがあるように思つたのです。以下は私の率直な思いです。

ロシアのウクライナ侵攻は「ロシアがプーチン大統領の指令によりウクライナで無差別に殺人、建造物破壊を開始。イスラエルのガザ攻撃も同様です。付言すれば、国際刑事裁判所（ICC）は戦争犯罪に関わつた疑いでプーチン、ネタニヤフ首相らに逮捕状を出しています。さらにイラン攻撃については、「トランプ大統領が小学校を爆撃、175人以上の児童や教師らを殺害」のように表現すれば、これを指揮した者の罪がよく伝わるように思っています。

いすれにせよ、こうした軍事攻撃を指揮する者の人間性を評価すれば、プーチンもネタニヤフもトランプも到底、指導者たるにふさわしい資質を備えているとは思えません。被害が拡大し続けるウクライナ、ガザ、イランなどでの紛争事例を見ると、それに関する報道に正義、倫理、人道的視点がもっと強く打ち出されるべきではないでしょうか。このような時期だからこそ、私たちがかつて我が国が他国を侵略した歴史を忘れず、強い正義、倫理、人道的視点をもち、国の平和と近隣諸国との友好関係の維持に努めねばならないと改めて思っています。

25年度無料出張講演 46回開催2095人聴講

交通遺児育英会が各地の企業・団体、警察、学校などで開いている無料出張講演の2025年度開催結果がまとまった。昨年4月～3月までの間に前年度比12回増の計46回開かれ、延べ2095人が聴講。開催回数は5人が聴講。開催回数14年度の開催から累計115回となった。聴講者は3月31日現在、延べ9322人。

コロナ禍を経て、22年度から導入したDVDによる講演が現在の主流。交通事故で家族を失った体験を保護者、子どもそれぞれ立場から訴え、

事故防止を呼びかける。講演の申し込めは、電話のほか当会ホームページからも受け付けている。（2面に聴講者アンケートに寄せられた声を掲載しています）



「X」のフォロワー1億1000万人。そのつぶやきに誰もが驚愕し、世界を混乱に陥れるインフルエンサー、さて誰？ 答えはトランプ米大統領。投稿は連日、内外のメディアに取り上げられ、今やSNSは国のトップまでが手放せないツールになった▼そのSNSを巡り、従来自己申告制だった年齢確認の厳格化が日本でも求められることになりそう。いじめやネット依存症の防止が狙いという。海外では昨年オーストラリアが16歳未満の利用を禁止したほか、欧州各国でも規制強化へ向けた議論が進む▼利便性の半面、ネット空間に飛び交う言葉の刃による被害は後を絶たず、時に子どもの命まで奪い去る。文科省による全国の中小高校、特別支援学校を対象とした調査では、いじめの認知件数は76万9020件（24年度）。そのうちパニックや携帯による誹謗中傷や嫌がらせが2万7365件あり、13年度（7788件）以降、増加傾向が著しい▼子どもが新しい環境に慣れ始める季節、SNSを交換する機会も増える。実社会ではいじめに限らず、深刻な犯罪に巻き込まれるケースも少なくない。ネット上の「つながり」が当たり前の時代だからこそ、親も子もその扱いには敏感でありたい。

令和8年度 事業計画を決定

4月から家賃補助増額 今後も支援を拡充

3月19日に開かれた第45回通常理事会で今年度の事業計画が承認された。4月から家賃補助の増額が始まったほか、運転免許取得費用、進学受験費用の補助増額、心臓関西寮の寮費値下げ（東京寮と同額の月額1万円）が既に実施されるなど、第6次長期事業計画に則った支援強化を前面に打ち出す。各種資格・検定受験料の補助も、要望に沿う形で随時対象を拡げており、今後も支援策をさらに拡充させる。

【事業計画の概要】

◆奨学生の採用
新規・継続を合わせて高校（高専を含む）312人、大学（短大を含む）468人、大学院33人、専修学校86人、各種学校2人―計901人と前年度比8人増となる見込み。従来の採用減傾向から、物価高に伴う家計の圧迫を背景に前年度に続く微増見通し。また、今年度は15年、22年度に続き3回目となる奨学生家庭の生活実態調査を併せて実施する予定。奨学金は貸与3億3400万円、給付1億6800万円、計5億2000万円（前年度比700万円増）を見込んでいる。

◆奨学金の返還
物価高の影響に加えて返還免除額の増加により、今年度は9億2000万円の請求に対して返還見込み額8億1000万円と、前年度を5000万円下回る見通し。返還業務の推進にあたっては、返還者の実情に応じた柔軟な対応を心がける。また、今年度より可能になったインターネットによる返還金の口座振替手続きの利用促進を図る。

◆支援の拡大

◆奨学生への指導
「ヤングケアラー」アンケートに基づいて対象世帯に個別面談を実施。アンケート調査を継続し、関係機関との連携も視野に入れて支援策を検討する。また、8月に行う「高校生と保護者のつどい」では、保護者の要望を受け、高校生と心身の交流を図るため、受験勉強や進路について相談できる場を設ける。高校生対象の海外語学研修は、3週間の日程で21人を米国へ派遣する。



国内の自転車保有台数は約7000万台。交通ルールの順守が求められる。（イメージ写真）

◆事業資金の強化
一般寄付、遺贈を合わせて前年度並みの6億5000万円の寄付収入を見込む。広報重点エリアと連動した募金活動と併せて、「エポスポイント」「セブンマイル」などデジタルポイントによる寄付の促進、オリジナル募金活動も行う。

◆広報活動
ホームページ、SNS、広報紙「君とつばさ」、各地方紙での対談企画などを進め、情報発信に努める。通算100回を超えた無料出張講演の開催、警察や交通安全関係団体などの連携を通じて活動を展開し、引き続き認知度の向上を図る。

◆評議員選任
評議員選任委員会が評議員2人が選任された。（3月19日付）

◆新任評議員 新田慎二
一連合会理事長、相本康一
一西日本新聞社執行役員東京支社長

◆退任評議員 神谷俊広、曾山茂志、片山幸士

◆8年度予算
12億100万円

◆春の全国交通安全運動
4月6日～15日、期間中の交通事故発生状況（速報値）を警察庁がまとめた。死者は53人で昨年同期比11人減となり、直近10年間の同運動期間中、最も少なかった。一方、事故件数は7723件で517件増、負傷者も9079人で625人増えた。飲酒運転による事故は32件あり、そのうち死亡事故が2件だった。また、4月から16歳以上を対象に自転車の交通反則通告制度（青切符）が導入されており、報道によると、信号無視や一時停止違反などで交付されたケースがあった。

死者数減も事故件数、負傷者は増

警察庁まとめ「春の全国交通安全運動」

春の全国交通安全運動（4月6日～15日）期間中の交通事故発生状況（速報値）を警察庁がまとめた。死者は53人で昨年同期比11人減となり、直近10年間の同運動期間中、最も少なかった。一方、事故件数は7723件で517件増、負傷者も9079人で625人増えた。飲酒運転による事故は32件あり、そのうち死亡事故が2件だった。また、4月から16歳以上を対象に自転車の交通反則通告制度（青切符）が導入されており、報道によると、信号無視や一時停止違反などで交付されたケースがあった。

ハンセン病療養所 訪ねて思う「過ち繰り返さぬ」よう

3年 A・S
去年の夏休みにハンセン病療養所に入所する方々との交流会に参加し、岡山県にある「長島愛生園」と「邑久光明園」を訪ねました。さらに、東京の国立ハンセン病資料館にも足を運んで証言映像や建物を見学し、話を聞くことができたことは深く残る貴重な経験となりました。

ハンセン病問題を生み出したのは国の政策であり、人権を軽視し、過ちを繰り返さぬよう政府の姿勢を示す。本来なら一人を守る「立場であるはず

が、逆に人々の人生を奪ってしまったのです。入所者の方々は療養所の中で互いに支え合い、差別の中でも懸命に生きてきました。外の差別に比べれば療養所は天国だった」と語る人々はいま

す。長い差別に耐えてきたからこそ出た思いなのだと思います。しかし、残念ながら療養所内でも複

合マイノリティへの差別が存在したという証言もありました。差別は誰もが加害者にも被害者にもなり得ると感じました。

人権を軽んじられても強く生き抜いたハンセン病患者の方々のことを忘れず、同じ過ちを繰り返さぬよう、次の世代に伝えていく責任があるのだと思えました。（大阪府）

助産師の夢へ向け 大学入試に生かす 数検、英検に挑戦

3年 K・N
私は大学入試に生かせる学力を身につけたいと考える。実用数学技能検定（数検）と実用英語技能検定（英検）の2級に挑戦しました。検定試験に向けた学習を通じて、受験勉強や模試対策だけでなく日々の学習にも役立てることができました。とくに基礎を固めながら応用力を高めることができ、自分の学力を客観的に確認するよい機会になったと感じています。

検定の勉強と学校生活

を両立させる状況の中で、毎日の授業の予習や宿題の多さから、試験の不安を感じることなく目標に向かって努力することができました。安心して学習する環境を整えていただいたことに心から感謝しています。

今後はこれらの検定を大学入試に生かすため、準1級にも挑戦したいと考えています。将来は大学へ進学し、命の誕生に寄り添う助産師になりたいという夢を実現したいです。

支援してくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも目標に向かって努力を重ねたいと思います。（島根県）



ハンセン病問題は決して過去の出来事ではありません。恐怖や無知から差別が生まれ、国が責任を隠そうとする構図は、今の時代にも同じように存在しています。

コロナ禍の際に、感染者や医療従事者に心ない言葉やかける人もいました。「再び同じことが繰り返されるのでは」と、危惧していた入所者の方

もいたそうです。だからこそ、私たちは歴史を学び、考え続ける必要があります。

ご遺族の「主人は亡くなってしまったが、加害者にならなくてよかった」と思っています。という言葉の重みを感じた。

教習指導員として「安全運転とは何か」「法令順守の重要性」について教習生にさらに指導できるように、研鑽を積みたい。

交通事故が起きた後の被害者、加害者がどんな気持ちで過しているか……想像以上でした。事故防止業務に妥協せずに尽くしたい。

私たちの職務である「安全運転者の育成」は、運転者の命を守るだけでなく、そのご家族の命を守ることもつながることを再確認できた。

ドライバーを預かる会社として、常に事故を起こさない体制を考えた

かと思っています。

今を大切に、大切な人、支えてくれる人、周りの人たちを大切に生きていけたらいいな、と思う。

「あしながおじさん」のことを家族にも共有したいと思っています。

つらい体験を話していただいたご遺族の勇気に拍手を送りたいです。

自分たちが日ごろ行っている（運転）業務には、重大な責任が伴うことを（富山県・株式会社HRS様のアンケートより）

出張講演を聴いて

二ニュース報道ではほとんど語られることのないご遺族の心情、境遇を知ることができました。

運転技術を覚えるだけでなく、免許取得後の行動が自分自身や周囲に大きな影響を及ぼすことを教習生に伝えていきたいと思う。

今度も、免許を取りに来る方に事故を起こさせないよう、熱意をもって職務に励んでいきます。

職業柄、交通事故の悲惨さがある程度は理解しているつもりでしたが、遺されたご家族の声を聴く機会はまだありませんでした。一人でも多くの教習生に伝わるよう工夫して、交通安全に役立つようしていきたいと思っています。

（広島県・ロイヤルドライビングスクール様のアンケートより）

とを自覚しなければならぬと改めて感じました。

（交通遺児育英会の）支援があることで遺された子どもたちの未来が明るく照らされ、夢をあきらめず生きていけたらいいな、と思う。

事故を起こさないよう、「ハンドルの重み」を感じながら運転します。

突然に、自分が事故の加害者、被害者のいずれにもなる可能性があることを痛感させられました。

（富山県・株式会社HRS様のアンケートより）

講演の申し込みを受け付けています

交通遺児育英会ではDVD等による全国無料出張講演の申し込みを受け付けています。申し込み、内容に関する詳細は当会ホームページ（<https://www.kotsumi.or.jp>）または電話（03-3555-0178）にてお問い合わせください。

2026海外語学研修参加者のみなさん

野尻 泰誠(3年)	北海道	保科 糸緒(2年)	東京	齋藤 うた(1年)	山口
牧山麟太郎(2年)	長崎	杉平 笑和(2年)	東京	小堀 龍也(2年)	滋賀
近藤 諒河(2年)	愛知	前川里衣菜(3年)	愛媛	太田 彩輝(1年)	大阪
佐々木陽梨(1年)	愛知	神野 柚季(2年)	愛媛	長田 りん(3年)	大阪
青木 結海(1年)	茨城	榊原 福斗(2年)	京都	浅井 更紗(3年)	大阪
田瀬そよか(2年)	宮城	平川 夢叶(2年)	広島	才木 奏和(3年)	大阪
瀬田 歩夏(1年)	埼玉	齋藤 祐月(3年)	山口	大崎 珀乃心(2年)	大阪

【敬称略、順不同】

今夏米国へ高校生21人を決定

海外語学研修 7月18日から3週間

高校奨学生を対象に交流研修参加者、旅行会社派乗員も同席のうえ、都内で令和8年度海外語学研修出発前の説明会を開く。参加者21人が決まった。研修は前回に続いて米カリフォルニア州デメキユラを拠点に行われる。参加者は現地家庭にホームステイしながら、語学学校で授業を受け、社会見学やアクティビティなどの課外活動にも参加する。6月に過去の研

修参加者、旅行会社派乗員も同席のうえ、都内で出発前の説明会を開く。参加にあたっては、原則として英検3級(他の英語検定では英検3級相当以上の語学力が必要。既に準2級を取得する場合は、応募の動機について「多様な価値観を知りたい」「日本の違いを知って視野を広げたい」「外国人に英語で話しかけられても言葉が出てこなかった。英語を上達させたい」「将来、国際的な機関や組織で働きたい」など話した。

また、「米国で日本の良さを伝えるなら」との問いには「和食」と答えた生徒が最多。日本人の礼儀正しさや細やかな気遣い、街の清潔さ、治安の良さ、アニメ文化なども美点として挙がった。一行は7月18日に東京・羽田空港を出発、8月8日に帰国する予定。



昨年の研修最終日程「さよならパーティー」で



【心塾東京寮で4月4日】



【大阪市内で4月11日】

それぞれの春満開

令和8年度東京・関西心塾入塾式

新年度を迎え、東京・関西の心塾では、この春から加わった新入塾生の入塾式が行われた。石橋一会長ら役員のほか、健一会長ら役員は、在塾生もそれぞれの式典に出席して、新たな生活のスタートを祝った。

両会場での式典冒頭に挨拶した石橋会長は、世界で紛争が絶えない現実を引き合いに「皆さんの

「地道に努力する」新入塾生ら抱負

新入塾生は「地道に努力する」「数学を頑張る」「立派なアーティストを目指す」「規則正しい生活を身につける」など思い思いに抱負を語った。

また、東京寮でスピーチ、文章、読書感想文の各講座を担当する講師陣も祝辞を述べ、新入塾生にエールを送った。

文章講座担当の山田克司講師は「遠回りができるのも学生の特権だ。ムダを恐れず、タイプ(タイム・パフォーマンス)にとられ過ぎず、いろいろなことに挑戦してほしい」と述べた。

東京寮の大学院生・庄司愛葉さんは、在塾生代表として歓迎の言葉をこたへた。大学4年間はずっと充実していた。もともとは専業主婦になれたらと思っていたが、今は大学院でさらに学び、子どもたちのびのび育つことができるといふ小学校を作りたいという目



(新潮文庫 781円)

もう読んだ？

歌舞伎小屋裏の“大カラクリ”

歌舞伎小屋裏の“大カラクリ”

睦月晦日の雪の夜、江戸木挽町(今の東銀座)の歌舞伎芝居小屋裏手で仇討ちあり。見目麗しい若衆・菊之助が父の仇、博徒・作兵衛の首級を上げる。

2年後、菊之助の国元から来たという武士が、芝居小屋の裏方たちの5人から、仇討ち目撃の子細と彼らの来し方を聞き出す。

呼び込み屋の木戸芸者・一八(吉原生まれの元替間)、殺陣指南役・与三郎(下級武士の三男坊、放蕩のすえ逐電)、四十路の女形・二代目芳澤はたる(焼き場の使用人に育てられた元孤児、本職は端役の衣装の整え役)、芝居の小道具作り・久蔵(無口の名工、菊之助を自宅長屋に寝泊まりさせる)、戯作者・金治(旗本の次男坊、いつとき吉原通い)。

仇討ちの目撃者5人は、相手が事件のあらましかかり

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

か、自分たちの過去までなげにゆえ聴きたがるのか訝りながら、こもこも話す。彼らの多くは故郷や身分を捨て、流れてきた者たち。過去を背負いながらも、悪所と自認する芝居小屋に居場所を見つけ、「一虚を笑に変えて客に愛を購らしてもらおう」という矜持と情の厚さを滲ませる。涙を誘う場面。小道具作りの久蔵は憔悴して仕事に手が着かない。「菅原伝授手習鑑」で使う子ども切りの首作りを頼まれたからだ。愛息を病で亡くした直後だけに子どもの切り首などとも作れない。ひと月あまりの懐悩のすえ、芸の鬼となって亡き我が子に似た切り首を仕上げる。幕が開くと件の場面で久蔵がただただ落涙する……。

そして終幕。国元に帰った菊之助の口から、仇討ちと芝居の間で今度は「実を虚に変える」「頭末が縋々語られ、木が入る。



残雪

奨学生OB 蘭田 大二郎

数学通じて実践「僕だけの授業」

答 えを導くまでに人それぞれのプロセスがあり、解けた時の達成感、成功体験が次のステップへの自信になる。暗記では解けないのが数学の面白いところです。

数学教師を志す今山武心さん(21)。現在、力を注ぐのは知識の習得はむろん、さまざまな教育現場を知ること。自身の経験値を上げ、教える側としての技量を磨くことだ。

大学の地域連携プログラムを利用して中学校で授業支援に携わったり、NPOなど学外団体の子ども支援にも参加。さらには災害ボランティア、環境保護など関心を寄せる分野の活動にも加わる。とりわけ子どもへの支援では、さまざまな現場を通じて子どもが置かれた現実も垣間見た。

「いろんなサポート事業に参加して感じるのは、社会問題になっていく子どもの貧困と相まって、今の子どもたちには安心できる居場所がなさすぎる、ということです」

NPOの活動スペースに行くくと、「友だち作りや感情表現が苦手な子は珍しくなかった」といって、近年は外国籍の子どもの増加、日本語の習熟度によって周囲と十分なコミュニケーションが取れない子は多い。さらには、障害を負う家族の世話を担う、ヤングケアラーの子もいる。

「そうした子について自宅、学校以外の居場所になれるよう、外部団体が果たす役割は大きい、と思います」



いまやま 武心さん
城西大学 理学部数学科 3年

これまでの経験から、「一方通行」の授業ではなく、子どもの特性や主体性を尊重した「個別最適な学び」の必要性を強く感じたという。

「一方的に正解を教えるのではなく、子どもが自分で考え、対応できるように促すことが大事だと思う。そうした習慣が身に付けば、大人になって社会に出てからも必ず役立ちますから」

そもそも数学は苦手だった。塾にも通ったが成果は今一つ。成績が伸び始めたのは中3の頃だ。なぜかはよく分からないが、「これも」と思い当たるのは中高6年間を通してサッカークラブでの経験。

「あいさつや整理整頓の徹底など、人としての基本を重

んじるチーム。他人と関わることが得意ではなかった自分がすっかり生まれ変わった気がします」。大学受験は建築科と数学科に合格、進路に迷ったが教師への憧れが勝った。

これまでの積み重ね、これからの経験を生かして「数学を通して子どもにたくさんのことを学んでほしい。僕にしかできない授業を実践したい」。

5歳まで父(享年40)の母国・スリランカで過ごした。「学校の校門の前にぼろぼろの服を着た裸足の子が大勢いて、『学校に行きたいのかな』と。いつかそんな子を支援したい、と思ったのが教師を志望した原点です」

中1の時、父は母国での事も一役買いたいです」

故で急逝。サッカーの練習に向かう途中、帰国する父と駅で別れたのが最後の姿になった。自分がゴールを決めた時は、ルールもよくわからないまま、ずっと拍手を送り続けてくれた優しい父。大学生になり、叔父に「雰囲気や話し方(正父に)似てきた」と言われるようになった。

高校時代から続くサウナ巡りは、趣味が高じて大学入学早々にサウナサークルを設立。約30人の部員を束ね、関東近郊のサウナ探訪を楽しむ。時には一人で入浴し、自身と向き合うことも。「自分を俯瞰して感じられる」のがいい。

「今年は大卒近隣のサウナとコラボして、地域おこしにも一役買いたいです」

お母さんの背中

えんどう みさ さん
遠藤 美紗 さん

エステティックサロン経営 (徳島市)



5 月市内セラミックサロンを開いた。かつて母のついで働いたエステの仕事にやりがいを感じていた。「(長女の進学を機に)やりたいことをやるう、と。(エステは)お客様の喜びに共感しながら感謝していただきますから」

24歳の時に再婚、後に離別したものの長男(10)に恵まれ、部活のバスケットボールと一緒に楽しんでいく。「キラキラした青春を娘と息子にやり直させてもらっている感じ、でしょうか」と表情がほころぶ。

起業したばかりだが、さらにその先にも夢を描く。「子どもの支援に携わりたい」との思いから始めた児童養護施設でのボランティア。保護者のいない、あるいは虐待などで家庭に居場所のない子どもたちに接して感じたのは、「周囲に頼れる大人が圧倒的に少ない」こと。社会経験が不足しがちな子どもたちに「世話焼きの近所のおばちゃん、になれたらいい」と思う。

「職員の方と話しても、自立に向けての不安はとうしても拭えないそうです。まずは保険営業時代の人脈を生かして、職業体験のような自立支援の試みができないか、と。将来は教育全般、子どもの貧困問題などに取り組むべく、政治にも関心を寄せているとか。母の挑戦は続く。」

この春、長女(18)が高校を卒業した。大学のある京都で一人暮らしを始め、自立への一歩を踏み出した。

「学校でも学生寮でも友だちに思われたみたいで。頼もしくなっていて、ひと安心しました」。4月の週末、帰省した長女と食卓を囲んだ。以前と同じように「ご飯食べよ」と声をかけた時、「そう言える幸せ」を改めて感じた。今春、長く勤めた保険の営業職を退職した遠藤美紗さん(34)。

自らも5月から新たな道を歩み始めている。

16歳で出産した長女が生後4か月の時、建設会社員だった夫(享年20)は仕事帰りの事故で亡くなった。膨れ上がる不安の中、長女

を連れて母と病院へ向かう途中、電話を受けた母が泣き崩れるのを見て「最悪の事態を悟った」という。

母子家庭に育ち、以降は母と共に働き、暮らしを支えた。周囲からは「子どもが子どもを育てられるのか」と心ない言葉を浴びた。あの勤め先では「子どもがいることは言わないで」と口止めされ、「なぜ可愛い我が子のことを話してはダメなのか」と憤慨、自主退職したこともある。

事故から数年間、亡き夫のことは「事故を」思い出し落ち込んでしまわないうように「あえて記憶に蓋をした。子育てを優先するため、時間の融通が利いて福利厚生も手厚かった保険会社に就職、目の前のや

るべきことに集中した。けれど今は、「娘がしっかり育ってくれたので、『お母さんの教育がよかったから』と言ってもらえることが増えました」と笑って話せる。「娘がいたから困難を乗り越えた。娘がいなければ、生きていく希望はありませんでした」

長女の引越を手伝った時、成長を誇らしく思う半面、別れ際に何とも言えない寂しさが込み上げた。「じゃあ帰るね」。そう言った途端、涙がこぼれた。思わず抱きしめた長女が言った。「18年間、育ててくれてありがとう」。長女も泣いていた。その言葉にまた涙があふれた。

「これまでの全てが報われた、と思いました」

「全て報われた」先に描く夢

特別対談

～ハンドルの重みは命の重み～

危険を予測して「思いやり運転」



(公財)交通遺児育英会

石橋 健一 会長

いしばし・けんいち 1942年生。北海道大卒業後、日新製鋼(現日本製鉄)を経て、96年から交通遺児育英会。事務局長、専務理事、理事長等を経て2023年から現職。

「奨学生のチャレンジを後押し」

4月から「ながらスマホ」に反則金が科されるなど、16歳以上を対象に自転車の「青切符」制度が導入されました。これまでにも、自転車による交通違反の罰則強化やヘルメット着用... 石橋 1960年代、高度経済成長に伴い自動車の保有台数が増え、同時に交通事故が多発して... 石橋 奨学金の貸与が最大... 石橋 スポーツは、どの競技でもトップになるのは難しいことですね。

いことでしょうか。とりわけ大池さんは世界的なトップライダーですから、私たちに想像もできない挑戦や苦しいこと、またサポートもあってここまで到達されたと思います。大池 私がBMXを始めた当初は、日本で競技として取り組んでいる女性は一人もいませんでした。大会で男性と競っても勝ち目がなく、悔しい思いをし続けました。当初は関東が拠点だったのですが、18年にBMXフリースタイル・パークの日本代表監督がいる岡山市へ移りました。ちょうど、BMXが21年の東京五輪の正式種目に選ばれたこともあってお声がけをいただき、岡山に来られるよう環境を整えてもらったのでありがたかったです。

石橋 地方出身の奨学生向け学生寮「心塾」を1978(昭和53)年以来、東京で運営しています。一昨年に建て替えが完了し、新しいきれいな寮に生まれ変わりました。関西圏では京都、神戸など25か所、民間の寮を借り上げて、当会の寮として運営しています。また、毎夏に実施している海外語学研修では、約30人の高校奨学生が米国カリフォルニア州でホームステイしながら約3週間の研修日程をこなします。語学力を鍛えるだけでなく、海外生活で自立する姿勢も芽生えています。大池 私が初めて海外へ行ったのも高校生の頃です。BMXの大会に参加するため、エストニアへ遠征しました。当時は英語が全く話せず、現地には日本人の先輩に食事

の注文から助けてもらい、帰国後に英語を勉強したのも良い思い出です。実は私の周りにも交通事故で親を亡くした人がいて、大変そうな姿を見てきました。交通遺児育英会のように、海外研修などさまざまな支援をしてくれて、チャンスをつかめる環境があるのは素晴らしいですね。石橋 当会の奨学生OBにも、大池さんのようにスポーツ界で活躍している方がいます。例えば、プロ野球・中日ドラゴンズの柳裕也投手は交通遺児を野球観戦に招待したり、「君とつばさ」に登場したりと、私たちの活動を支えてくれています。人生とは、夢や目標を持って走り続けるもの。実現に一步でも近づくと、当会の支援を生かして子どもたちが社会に羽ばたいてくれると嬉しいです。

改正道交法の施行で、自転車への「青切符」導入... 石橋 死角から何か飛び出してくるかも、と意識しながら運転するのはとても大事ですね。飲酒運転は、ごくわずかな量でもそういつた「気づく能力」や反射神経などに多大な悪影響を及ぼします。大池 飲酒していない時です。ささ事故は起きるものです。「自分なら大丈夫」という自信を捨て、「だめなものだ」と自覚してほしいです。「交通事故ゼロ」に向けた思いをお聞かせください。石橋 当会が全国で実施している無料出張講演などで保護者の方や子どもたちの交通安全啓蒙の経験も聞いていただくと、皆さん、改めて「事故は悲惨なものだ」と実感してくれそうです。ですが、日頃はあまりそんなことを意識せず運転してしまいませんか。当会は今後も、さまざまな事業を通じて交通事故が生む悲しみ

「自分がやりたいこと、口に出してみて」... 石橋 死角から何か飛び出してくるかも、と意識しながら運転するのはとても大事ですね。飲酒運転は、ごくわずかな量でもそういつた「気づく能力」や反射神経などに多大な悪影響を及ぼします。大池 飲酒していない時です。ささ事故は起きるものです。「自分なら大丈夫」という自信を捨て、「だめなものだ」と自覚してほしいです。「交通事故ゼロ」に向けた思いをお聞かせください。石橋 当会が全国で実施している無料出張講演などで保護者の方や子どもたちの交通安全啓蒙の経験も聞いていただくと、皆さん、改めて「事故は悲惨なものだ」と実感してくれそうです。ですが、日頃はあまりそんなことを意識せず運転してしまいませんか。当会は今後も、さまざまな事業を通じて交通事故が生む悲しみ

を運転時に思い出してもらえよう、交通安全意識の向上を訴えていきます。大池 交通事故は大なり小なり、周囲の人が驚き、悲しむものです。私も練習や大会で大きなけがをして、親に心配をかけたり、怒られたりしたことがあります。みんなが健康で安心して暮らせる街になるため、一人一人が気をつけたいですね。石橋 皆さんそれぞれ個性があり、夢や目標も違います。その達成に向かってチャレンジを続けられるよう、当会も後押ししていきます。また、東京で年に1回開催する「高校奨学生と保護者のつどい」や、全国各地で保護者同士の交流を目的に開いている「語り合いカフェ」などには私たちが職員も参加します。そうした機会に当会の事業に対するご意見もいただき、実際に改善につながっていきます。これからは奨学生、保護者の皆さんの声に耳を傾けながら、より皆さんの支えになる制度を整えていきます。

大池 まずは、自分がやりたいことを口に出してみたいです。そうすれば絶対に誰かが応援してくれたり、アドバイスをくれたり、と、助けてくれます。私も「BMXで世界一になりたい」と言った瞬間、ものすごくたくさんの方が応援し、支えてくれました。そして、夢は苦しいことを乗り越えるたび近づいてきます。人生に苦難はあっても、それが前です。それすらも時に楽しんで、あきらめずに突き進んでほしいです。

石橋 死角から何か飛び出してくるかも、と意識しながら運転するのはとても大事ですね。飲酒運転は、ごくわずかな量でもそういつた「気づく能力」や反射神経などに多大な悪影響を及ぼします。大池 飲酒していない時です。ささ事故は起きるものです。「自分なら大丈夫」という自信を捨て、「だめなものだ」と自覚してほしいです。「交通事故ゼロ」に向けた思いをお聞かせください。石橋 当会が全国で実施している無料出張講演などで保護者の方や子どもたちの交通安全啓蒙の経験も聞いていただくと、皆さん、改めて「事故は悲惨なものだ」と実感してくれそうです。ですが、日頃はあまりそんなことを意識せず運転してしまいませんか。当会は今後も、さまざまな事業を通じて交通事故が生む悲しみ

石橋 皆さんそれぞれ個性があり、夢や目標も違います。その達成に向かってチャレンジを続けられるよう、当会も後押ししていきます。また、東京で年に1回開催する「高校奨学生と保護者のつどい」や、全国各地で保護者同士の交流を目的に開いている「語り合いカフェ」などには私たちが職員も参加します。そうした機会に当会の事業に対するご意見もいただき、実際に改善につながっていきます。これからは奨学生、保護者の皆さんの声に耳を傾けながら、より皆さんの支えになる制度を整えていきます。

石橋 皆さんそれぞれ個性があり、夢や目標も違います。その達成に向かってチャレンジを続けられるよう、当会も後押ししていきます。また、東京で年に1回開催する「高校奨学生と保護者のつどい」や、全国各地で保護者同士の交流を目的に開いている「語り合いカフェ」などには私たちが職員も参加します。そうした機会に当会の事業に対するご意見もいただき、実際に改善につながっていきます。これからは奨学生、保護者の皆さんの声に耳を傾けながら、より皆さんの支えになる制度を整えていきます。

石橋 皆さんそれぞれ個性があり、夢や目標も違います。その達成に向かってチャレンジを続けられるよう、当会も後押ししていきます。また、東京で年に1回開催する「高校奨学生と保護者のつどい」や、全国各地で保護者同士の交流を目的に開いている「語り合いカフェ」などには私たちが職員も参加します。そうした機会に当会の事業に対するご意見もいただき、実際に改善につながっていきます。これからは奨学生、保護者の皆さんの声に耳を傾けながら、より皆さんの支えになる制度を整えていきます。



BMXプロライダー

大池 水杜 さん

おおいけ・みなと 1996年生。静岡県島田市出身。2011年からBMX競技を始め、18年仏W杯で日本人初優勝、21年東京五輪で7位入賞。昨年末、競技の第一線から引退を表明。

石橋 皆さんそれぞれ個性があり、夢や目標も違います。その達成に向かってチャレンジを続けられるよう、当会も後押ししていきます。また、東京で年に1回開催する「高校奨学生と保護者のつどい」や、全国各地で保護者同士の交流を目的に開いている「語り合いカフェ」などには私たちが職員も参加します。そうした機会に当会の事業に対するご意見もいただき、実際に改善につながっていきます。これからは奨学生、保護者の皆さんの声に耳を傾けながら、より皆さんの支えになる制度を整えていきます。

あしながおじさんの広場



お便り

【2月】
想像できない大変なことがあろうと思いましたが、でも、あきらめないでほしいです。
（京都府T・Yさん）

寄付金が有意義に使われますように、よろしくお願ひいたします。
（滋賀県I・Sさん）

皆さんの人生がよりよくなるよう祈念しております。
（東京都H・Mさん）

交通事故に遭い、少し話し、この寄付のこと
（交通遺児育英会の活動は）大変意義あることと思っております。これからも支えていきたいです。
（三重県I・Fさん）

【3月】
AI（人工知能）に相談して、この寄付のこと
（大阪府S・Hさん）

世界中が不安定な状態
（神奈川県M・Sさん）

花が咲く日を夢見て。
（愛媛県N・Rさん）

【4月】
世界情勢が一日も早く落ち着いてくれますように（いろいろな値上がりしていますね）。
（福島県K・Nさん）

元気株式会社 様

夢中になれるコンテンツをゼロから創り出す

元気様は「空想実現」という理念のもとに、ゲームソフトの開発会社としてスタートされました。これまでに数多くのゲームソフトをはじめ、パチンコ・パチスロのコンテンツ開発などにも携わってこられました。現在はWeb3.0技術、デジタルツイン、AI（人工知能）などを活用したゲーム以外の分野にも活動の場を広げられ、技術アイデアで夢中になれるコンテンツから「楽しい」を世界に届ける」というビジョンの実現を目指されています。

また一方で、豊かな生活にも貢献したいとの思いから社会貢献に努められ、その一環として交通遺児の支援にも尽力されています。

ご支援に感謝いたします

育英会から

AIに相談して寄付先を決めました 未来の目標に向かって頑張れ！

【2月】
想像できない大変なことがあろうと思いましたが、でも、あきらめないでほしいです。
（京都府T・Yさん）

寄付金が有意義に使われますように、よろしくお願ひいたします。
（滋賀県I・Sさん）

皆さんの人生がよりよくなるよう祈念しております。
（東京都H・Mさん）

交通事故に遭い、少し話し、この寄付のこと
（交通遺児育英会の活動は）大変意義あることと思っております。これからも支えていきたいです。
（三重県I・Fさん）

【3月】
AI（人工知能）に相談して、この寄付のこと
（大阪府S・Hさん）

世界中が不安定な状態
（神奈川県M・Sさん）

花が咲く日を夢見て。
（愛媛県N・Rさん）

【4月】
世界情勢が一日も早く落ち着いてくれますように（いろいろな値上がりしていますね）。
（福島県K・Nさん）

資格・検定試験費用補助の対象 追加申請を受け付けています

交通遺児育英会では就職に役立つ、学業を修める上で必要な資格の取得、語学検定試験の受験費用の全額補助を実施しています。受験料や受験回数に上限はありませんので、合格するまで何度でも挑戦できます。

4月10日現在、81資格と9言語21検定、漢検、数検、文章検定、学校が指定する外部模擬試験が追加申請の対象です。

もし補助対象に記載のない資格・検定でも、左のQRコードから対象の追加申請ができます。問い合わせは指導課（0120-5211-2905）まで。



【5月】
【6月】
【7月】
【8月】
【9月】
【10月】
【11月】
【12月】

交通遺児育英会の連絡先(平日9:00~17:30)	
▽奨学金貸与について	0120-521286
▽返還・猶予・免除について	0120-521287
▽成績相談・つどい・語学研修	0120-521295
▽募金・寄付について	0120-521285
▽心塾入寮申し込みについて	0120-355619

教えて！交通事故Q&A

(公財)日弁連交通事故相談センター ②1

Q 昨年、交通事故で左腕を骨折して全治6週間との診断を受け、治療費及び慰謝料等を受け取りました。しかし、事故から3か月後に左腕の具合が悪化したため、改めて診察を受けたところ、予期に反する重傷と分かって再手術を余儀なくされ、左腕に後遺症が残りました。示談書には「今後一切の請求を放棄する」と書かれていたのですが、このような場合、追加で損害賠償金を受け取ることはできませんか。
（東京都・35歳男性）

示談成立後の予期せぬ後遺症 損害賠償を追加請求できるか

A 一般的に、交通事故の示談は「その内容で最終的な解決とする」という契約です。特に、示談書に「今後一切の請求を放棄する」との条項がある場合は、後から追加で損害賠償請求をすることは原則できません。

しかし、最高裁判所は「示談当時予期できなかった不測の損害」について、例外的なルールを認めています。すなわち、ご質問のように、医師から全治6週間と診断された事故から2か月後に「これ以上の損害は出ない」と信じて示談した後、予期せぬ重傷の発症や後遺症が残ったことによる損害は「予期できなかった不測の損害」に該当し、賠償請求権を放棄していないと判断してもらえます。

ただし、この考え方が

日弁連交通事故相談センター無料相談ダイヤル
0120-0783-25
月～金(祝日除く)10時～19時(相談・通話無料、10分程度)
ホームページ <https://n-tacc.or.jp/>

交通遺児 奨学生募集

ハンドルの重みは命の重み

高校・専修学校・各種学校 大学・大学院

〈保護者の重い後遺障害も対象です〉

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286
<https://www.kotsuiji.com/>